

広島大学マスタース広島 第62回幹事会 議事録

日 時 2025年6月14日(土) 14時～16時

場 所 東千田キャンパス未来創生センター4階 ミーティング・ルーム4-2

出席者 植村泰夫、大杉 節、於保幸正、鈴木盛久、椿 康和、寺本康俊、圓山 裕、渡邊敏正

報告事項

1. 新入会員の申し込み状況について

以下の3名の方からの加入申し込みがあり入会金も納入された旨、総務担当幹事と会計担当幹事から報告があった。

水羽 信男(人間社会科学研究科、総合科学部)

長沼 毅(総合生命科学研究科、生物生産学部)

有元 伸子(人間社会科学研究科、文学部)

2. 幹事辞任の申し出について

井上研二幹事から幹事辞任の申し出があった旨、総務担当幹事から報告があった。

3. その他

植村代表幹事から、6月7日に開催された広島大学マスタースの本年度総会に出席した旨報告があった(本年度の新規加入者5名)。

議 題

1. 第12回総会について

資料1-1、および資料1-2にもとづいて協議し以下のように決した。

- 開催案内に総会議事の項目を追加し、総会の進行要領を一部修正する
- 開催案内に出欠回答の葉書に貼付する個人情報保護シールを同封する
- 参与および顧問(計4名)についても総会の案内を郵送する

2. 2024年度事業報告案について

資料2にもとづいて協議し、広島大学での授業の実施状況において本会会員外から協力を得ている旨を明記するという修正を行って承認した。

3. 2024年度決算案について

資料3にもとづいて協議し、原案を承認した。2021～23年度を含む監査の実施については、会計担当幹事が監査と日程調整を行うこととした。

4. 2025年度事業計画案について

資料4にもとづいて協議し、原案を一部修正して次回の幹事会に諮ることとした。

協議の中で、以下の意見が出された。

- 本会の運営の活性化に向け、各業務を複数の幹事で担当するとともに業務の引き継ぎを円滑に行うために60代の会員を幹事に登用していく必要がある
- 本会が担当している平和科目（CとD）の継続は、本会にとって重要なミッション
 - そのためには次の世代の授業の担い手の確保が必須であり、常に検討すべき
 - 開講計画の立案・授業担当者との調整を担う責任者についても円滑なバトンタッチを図る必要がある
 - 広島大学に対して、本科目の開講理念やあり方を継続して確認していくべき

5. 2025年度予算案について

資料5にもとづいて協議し、原案を承認した。

6. 次回幹事会の日程について

8月2日（土）14時から開催することとした。

以上